

ふじのくに県民クラブ

静岡県議会レポート

平成29年 夏号

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL.054-221-3510
浜松市西区入野町9860-1 TEL.053-440-7100
taguchi@suzuki-union.or.jp



浜松市西区 田口章



みんなで創ろう！ 世界に誇れる ふじのくに

6月25日に行われた静岡県知事選挙は「継続か刷新か」が争点となりましたが、川勝平太知事が83万票余を獲得し三選を果たしました。一方、得票数は4年前に比べて約24万票減り、とりわけ静岡市では相手候補の後塵を拝しました。こうした県民のみなさまの声に真摯に耳を傾け、真に県民のための政治に取り組んでいく必要があります。

人口減少対策や経済活性化、財政健全化など県政課題はありますが、こうした政策に特効薬はありません。そのような中「現場主義」で県民の声を聞きつつ、世界に目を向けた施策を推進する県政運営は川勝知事ならではの評価しています。

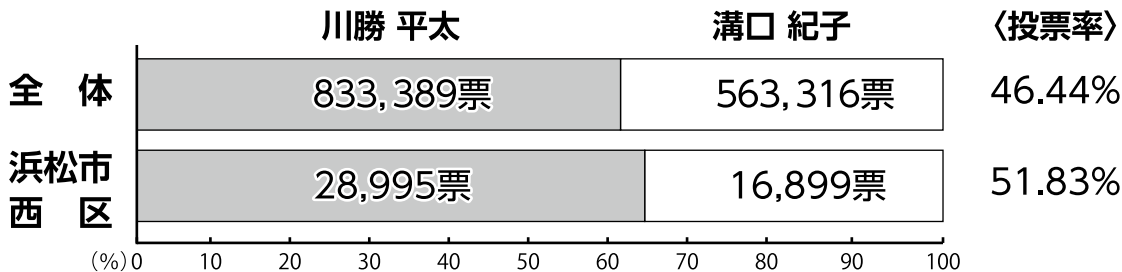
最近話題になる「若者の政治参加」についても「次代を担う若者たちによる県民会議」を開催するなど他県に先駆けた取り組みを進めているほか、県民の安全安心の確保を第一に、野球場整備など地域活性化についても前向きに考えています。

しかし知事一人で370万県民すべての声を聴くことはできません。地方自治制度は国の「議院内閣制」と違い「二元代表制」とよばれ、首長も議員も住民の選挙で選ばれます。私たち議員が、より県民のみなさまに近い立場で、声を聴き、県政に反映していくことが大切です。

私たちふじのくに県民クラブは、議会内での役割をしっかりと果たしつつ、県民のみなさまが「生まれてよし 老いてよし」「生んでよし 育ててよし」「学んでよし 働いてよし」「住んでよし 訪れてよし」と感じることができる静岡県づくりに向けて取り組んでまいります。



静岡県知事選挙結果



◆ 仲間が増えました

知事選にあわせて行われた県議会議員補欠選挙では、富士市で最年少の伴卓氏(初当選・30歳)、伊東市で元職の中田次城氏(通算2期目・52歳)が当選しました。

伴議員は私たちふじのくに県民クラブに入会。中田議員は無所属で活動することになりました。新しい会派構成は右表のとおりです。

会派名	旧(欠員2)	新
自民改革会議	38	38
ふじのくに県民クラブ	20	21
公明党静岡県議団	5	5
無所属の会・責任世代	2	2
無所属	2	3
計	67	69

◆ 6月定例会報告

● 可決した条例等

静岡県議会6月定例会は6月30日から7月31日までの32日間開催されました。知事提出議案は条例の制定・改正8件、その他6件の計14件。補正予算はありませんでした。新たに制定された条例は、「過疎地域や伊豆半島地域での産業振興」や「小規模保育施設を整備する際」に県税の一部を減免するものなどです。地方創生、地域活性化、少子化対策に実効ある仕組みができればと考えています。

● 委員会での論戦

今年度、私は「建設委員会」に所属することになりました。委員会は「篠原地区の野球場整備」「沿岸域の防潮堤整備」「堀留川など県管理河川の治水対策」など、地域に密着した話題や、「ICTを活用した土木施工」「中長期的なインフラ改修計画」など将来を見据えた土木行政を所管しています。詳しい資料をご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

◆ 社会総がかりでいじめを防ごう



子育て支援ネットワーク会議で「子どもいじめ防止条例」を紹介

静岡県は昨年12月「子どもいじめ防止条例」を制定しました。この条例のキーワードは「社会総がかりでのいじめ防止」です。平成25年度の「いじめ防止対策推進法」の制定以降、学校現場ではいじめ対策方針に基づく活動が進んでいますが、地域社会でもいじめの防止や早期発見につなげることができます。

先日、子育て支援に携わる地域のみなさんの意見交換がありました。誰もができる「地域での声掛け・あいさつ・見守り」をはじめ、PTAや放課後児童会、子ども会や少年団の役員コーチのみなさん、塾や習い事の先生方など、子どもたちとかわるすべてのみなさんが学校と連携を取ることでちょっとした変化に気づくことがあります。

「親に話せない」という子どももいます。ご家庭でもお子さんとのコミュニケーションをこれまで以上にとってみませんか。

◆ 住民参加による政策形成

浜松市には各地域に「協働センター」があります。このように「市民(住民)協働」という言葉を耳にする機会は増えましたが、この言葉の受け止め方はさまざまではないでしょうか。

「新しい公共」という概念のもと、公共サービスを官民の役割分担によって最適化する活動が進んできましたが、まだパートナーが「コスト削減」「行政の下請け」になっているケースが見受けられます。



ネイバーフッド・アソシエーションの月例会を傍聴



ネイバーフッド・エマージェンシーチームに静岡県の防災対策を紹介

5月に米国ポートランド市を視察しました。ここでは地域住民や企業を巻き込んだ都市開発や、「ネイバーフッドアソシエーション」という住民組織による政策形成への関与が積極的に行われています。ある「ネイバーフッドアソシエーション」の月例会を傍聴しましたが、「ホームレス対策」や「学校施設の老朽化」に対し、老若男女が侃々諤々意見を述べ合い、当局に意見をぶつけており、まさに民主主義の原形を垣間見た気がしました。

今後の人口減少社会の中、官民連携、住民協働は不可欠です。国内でも「地域自主組織」が注目されるようになってきましたが、いろんな住民参加のしくみを考えていく必要があります。

● 日頃の活動はブログでどうぞ(右QRコード)

- 毎週土曜日午後5時からFMハロー「遊佐ちえみの 聞いちゃえ!しずおかの政治」でふじのくに県民クラブの議員による県政報告を行っています。私は第4週の担当です。(8月は都合により19日)取り上げてほしいテーマやご意見ご感想をお聞かせください。

